

知已故故に便り会社一説の得二十人者アリ又「向日暮自立
21日アラタリニモ結局向正会と解散。本部ト分離向物
行動ヲ執ル。決シ久松修平」

兵庫分工材職工一千五百人行商六百三十人、一方情ニ地力下
ニ自定シ軟化石炭、唐木多干ア加ヘト之ノ折板共四〇、兵庫
明治會二、於ケル市民有志大會ニ於テ曉明会議不半、並
「工場手島製糸、固年支拂權及權及權及權及權及權及
三十人改軒主義經情頭機不改造スルハ我西移下之乞請
ナリト第シタニ、後革川時、造船所、大株主川上
高丘如江主張アハ吾事ト、吾求是復ア意志シタニ、十人端
硬十二總度ヲ以テ猶金也四十同志ニ激励セリトヨ」

(七八九)

其人曰然甚工職工ニ至良田御社ニ參り、持田子威連一部ニ生ニエトシ夜
星台年譜園幹部、宇行牛田東吉等ハ各職工ノ之別訪問ヲナレ、頻
リニタリト、強要シタル模様アリ、今社例ハ甚其事ニ甚因之、就
世事職工、減少ヲ懸念シ居タルニ各職工ノ前見早井、益全
トノ不折予降去サレタヒニテ、陸續入場相々達半

本工場

五千二百八十人

兵庫分工材

終

六千七百四十三人

七百四十九人

計

二二二、二三二、本工場五百三十八人、兵庫分工場百三十二人、督令合士場二、於
十一人、增加ナリト江戸商入場者、數全職工、半數ニ達セズ、又ノ入場
職工中外部、過半数ヲ占ム不安裡ニ作業、之に付セん、狀態十人
年前十時迄全工場、解散アリ、半漸々安堵シ相共能率、甚矣